



酉年の初めに

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会  
会長 島田正博

あけましておめでとうございます。

一年が何かに追い立てられるように過ぎていくように感じられるのは私だけでしょうか。昨年は、一昨年からの継続的な取り組みで「精神障がい者にも他障害同等の交通運賃割引の適用を求める全国運動」を取組んできましたが、残念ながら実現は出来ませんでした。しかし、「みんなねっと」として全国的な署名運動が出来たことは大きな成果であり、今後につながるものと期待されます。

また、全国大会や各ブロック交流会等を通して多角的な取り組みや多くの人材が周囲に集まってきており、これからの活動が楽しみです。一方県内においても家族大会や家族学習会、スポーツ大会、こころの芸術・文化フェスティバル等の様々な取り組みで多くの皆様に大変お世話になりました。ご協力に対し、改めて御礼申し上げます。

さて、今年には精神保健福祉法の3年後見直しの年となっています。先の見直しについて私たちは「みんなねっと」(公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会)の一員として保護者制度の廃止を強く求めてきました。保護者制度は廃止されましたが、保護入院の時、保護者の同意を外し、家族等のうちのいずれかの者の同意を要件とするという風にあいまいな形で、本人の人権をないがしろにするような内容となってしまいました。今回の見直しでは、医療保護入院に関しては家族等というようなあいまいな形ではなく、国と公的機関の役割を明確化することが求められます。

今度の見直しでもうひとつ気になるのが措置入院問題です。厚労省は昨年7月26日に起きた神奈川県相模原市の「津久井やまゆり園」における殺傷事件の後、大急ぎで「相模原市の障害者支援施設における事件の検証および再発防止策検討チーム」を立ち上げ、12月8日に最終報告を発表しました。

そして精神保健福祉法の見直しを視野に、今年の3月までに詳しい内容をまとめるとの事であります。

措置入院患者に手厚い医療や、退院後の支援をきめ細かくしていくことは必要だと思いますが、そもそもあの事件は障害者抹殺を振りかざし、勝手な思い込みによって、残酷なまでに犯行を実行していったのでは、なかったのでしょうか？極端な優生思想を精神疾患だと決めつけ、治せる精神科医がいるのでしょうか？あの事件は、本人の行動を察知した段階で警察が適切な対応を取っていれば、大惨事は免れた可能性があったのではないのでしょうか？

今度の報告とこれからの議論に、優生思想についての検討は見えません。このままでは精神障がい者に対する差別と偏見を生み出しかねません。もっと多角的な検討が求められます。さらに精神保健福祉法の見直しに当たっては、国連の障害者権利条約、障害者基本法、昨年施行された差別解消法等の精神に基づいた見直しを進め、共生社会の実現に向けて、着実な一歩を示してほしいものです。

さて、昨年末には、辺野古をめぐる訴訟で最高裁が上告棄却という結論を出しました。県民の負担軽減という政府の言葉が、何か別の解釈があるのかという思いで年末の動きを見ていましたが、オスプレイ墜落後の米軍司令官の発言や米軍発表を鵜呑みにする日本政府の見解を聞いているうちに、強固な日米同盟とは、お互いの国の民意に立脚して調整する事ではないのだなと、しみじみ納得させられました。

いや多くの国民は、沖縄に基地が集中するのを無理解なままにいるわけだから、民意はよく反映されていると解すべきでしょうか？しかし、民主主義の立場からはお粗末な限りです。

さて、今年は酉年。チキンゲームにならぬよう。自らを戒めながら、物事に当たりたいものです。皆様にとって幸多い一年となります事と同時に、希望が実現する年になる事を祈念いたします。



## 那覇市地域生活支援センターなんくる 塗装工事完了のお知らせ

2016年11月、外壁塗装工事が行われました。工事途中、塗料の臭い(シンナー臭)の影響で2週間いこいの場を臨時休館とするアクシデントもあり、利用者はじめ皆さんにご迷惑をおかけいたしました。

皆さんのご理解、ご協力と塗装業者さんの巧みな技術で外壁はきれいに塗られ、落ち着いた色の建物に変身いたしましたことをご報告いたします。那覇市のやんばる食堂や沖縄大学周辺にお越しの際はぜひ支援センターなんくるの外観を見に来てください。

施設長 兼浜 克弥

### 【沖福連よりお知らせ】

2017年2月9日に佐賀県で開催される平成28年度九州ブロック家族会精神保健福祉研修会に沖縄から参加しませんか？

2/8(水)	那覇発 福岡空港へ 佐賀観光、夜は参加者交流会
2/9(木)	基調講演 講師 門司晃氏 テーマ「こころの健康と身体の健康」
2/10(金)	☆コース1 講演 講師 谷口研一郎氏 テーマ「地域でくらすということ」 ☆コース2 家族SST講習会 講師 高森 信子氏 シンポジウム テーマ「共に心地よく生きるために」

申込み締切日 1月13日(金) 大会参加費、旅費合計 69,000円

### ◎編集後記◎

あけましておめでとうございます。

年末年始は、いかがお過ごしでしたでしょうか？暖かったり、冷えたりと体調を崩しがちなこの時期ですが、ちょっとした運動でも心掛けて、忙しい年明けを乗りきりましょう。

(又吉)

編集：公益社団法人

沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 島田 正博

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

沖縄県立てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail [terushino@otc.ne.jp](mailto:terushino@otc.ne.jp)

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-16-1

毎日福岡会館 7F

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)